

## 東京国際福祉専門学校を守る会ニュース 7号

### ついに財務諸表が出される！－2 年半越しの成果

2022 年 2 月 9 日に行われた裁判(第 6 回口頭弁論)で、学園は証拠資料として、財務三表(貸借対照表、事業活動収支計算書、資金収支計算書)を提出しました。学園は 2019 年 6 月に廃校宣言して以来、組合の再三の要求にも関わらず、財務諸表開示を拒否し続け、廃校後も、裁判が始まってからも頑なに提出しませんでした。

定期宣伝行動や抗議 FAX、署名をはじめ、守る会の粘り強い運動もあり、学園も提出せざるを得なくなったのでしょう。「説明責任を逃れ、恣意的に廃校や解雇をすることを許さない」というのは、この闘いの大きな目標の一つで、財務諸表を提出させたのは貴重な成果です。これから、財務諸表を分析し、経営の不透明性やおかしさを正し、東京国際学園の民主化の第一歩としたいと思います。

### 無謀な闘いか！？

私たちを応援してくださっている皆さん、いつもありがとうございます。私たちの闘いも2年を過ぎました。皆さんのおかげで学校がかたくなに拒否してきた、財務関係の資料の提出をようやく勝ち取りました。社会状況を見ると、この争議は無謀な挑戦とすることもありますが、しかし、未来に向かって道なき道を進むのは、当たり前のことです。仲間と共にいる限り、道は自ずと開けていくと信じています。皆さんの知恵と力を私たちに寄せてください。(川島薫)



### 守る会総会報告

#### (会員更新をお願いします)

2022 年 2 月 22 日 18 時 30 分よりエデュカス東京において結成後2回目の総会が開催されました。オンラインと対面を合わせて 50 名を超える参加となりました。瀧口会長より当事者の粘り強い取り組みと私教連の支援への感謝が述べられ、弁護団から裁判経過、組合からこの 1 年の活動と今後の方針について報告がありました。さらに支援者の皆さんから次々と温かい発言があり、当事者にとっての励みとなりました。事務局からは会計報告や課題提起などが行われ、特に東京地方裁判所の傍聴行動では入りきれないほどの人々が参加し、裁判官が部屋を変えなければならない状況を生み出していることは裁判の結果にも影響を与えるということが述べられました。

守る会の3年目がスタートしましたが、宣伝活動や裁判闘争など活動にも費用が掛かります。新しい年度(1口1000円)も会員の更新をお願いします。また新たな入会も歓迎します。守る会では活動支援の一環としてタオルの販売を行っています。1枚1000円ですが支援を兼ねて購入をお願いします。連絡は事務局まで。



## 定期宣伝行動

毎月第2及び第4火曜日 12:30～、東京都新宿区にある東京外語専門学校前で宣伝活動を行っています。アピール演説と要請行動を重ね、法人関係者への圧力をかけています。一般市民にも知らせることができ、非常に有効な活動であると思っています。ぜひご参加ください。今後も継続して取り組みます。

## デモ行進「光と怒りのパレード」 ご参加ください

守る会として初めて、不当な廃校・解雇に抗議するため、新宿、東京国際学園の周辺でデモ行進を行います。日程等は以下の通りです。多くの方にご参加いただき、楽しく、前向きな気持ちになれるようなパレードにしたいと考えています。是非、ご参集ください。

**日時: 2022年6月3日(金) 18:00～**      **集合場所: 新宿駅東口広場**

## 東京地裁傍聴支援をお願いします

廃校と組合員の解雇に対して4人の組合員は東京地裁に提訴しました。その第6回口頭弁論でも法廷が溢れる30人を超える傍聴がありました。第7回口頭弁論が以下の日程で行われます。是非ご参加ください。なお参加される方は当日地裁1階の受付を通過して8階の控室か806号法廷に直接来てください。

**日時: 2022年6月9日(木) 11:00～**      **場所: 東京地裁 806号法廷**

東京私立学校教職員組合連合  
千代田区二番町12-1 全国教育文化会館 5F  
03-3230-4091

QR CODE

